

平成29年度 鹿島朝日高等学校 学校自己評価(1/2)

1. 学校自己評価実施者:鹿島朝日高等学校 専任教職員(10名)
2. 評価対象期間=平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
3. 評価基準 「A=良好である」、「B=特筆すべき改善点はない」、「C=改善すべき点が見受けられる」(「C」と評価した項目は、課題や改善策等を記入)

※教職員全員の評価結果を管理職が集計し、「A・B・C」の中で一番人数が多かった評価を記載した。

※集計結果が「B」であっても、今後の課題・改善策として有益なものは掲載するようにした。

項目		評価基準	評価	課題、改善策等
教育課程・ 学習指導	教育課程等 の状況	補充的学習時間の設定および発展的学習の実施	B	
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	B	
		体験学習、学校行事などの管理・実施体制	B	次年度は、年間計画に沿った実施をさらに徹底する。また、実施時の安全管理体制をより強化する。
	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	B	
		体験学習の実施と地域の人材活用	B	
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	B	
生徒指導	生徒指導体制	出席、遅刻等のデータ管理と指導体制	B	
		基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	B	
		問題行動等の把握及びそれに対する対応状況	B	情報共有を徹底し、全職員で生徒をフォローできる体制作りが必要。
	いじめ問題対策	早期発見・事後対処のためのマニュアル作成と活用	B	
		「いじめに関するアンケート」の定期的な実施	C	今年度より定期的なアンケートの実施と教職員の研修参加を促進する。
進路指導 (キャリア教育)	組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B		
	職場体験活動や就業体験活動の状況	B		
	社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B		
	産業界との連携の状況	B		
	社会人としての勤労、公德心意識的の指導の状況	B		

平成29年度 鹿島朝日高等学校 学校自己評価(2/2)

項目		評価基準	評価	課題、改善策等
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	B	
		危機管理マニュアル等の作成・活用状況	C	災害時に備えた危機管理マニュアルの整備が必要である。
特別支援教育		校内支援体制の整備状況	B	外部講師による研修や外部研修プログラムへの参加を増やす予定である。
		家庭・保健関係機関(福祉施設・医療機関等)との連携状況	B	
組織運営		校務分掌等の運営体制の整備状況	B	
		「報告・連絡・相談」の徹底	B	
		情報管理の状況(公文書作成・収集・保管、個人情報保護等)	B	
教職員の資質向上のための取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」に基づく研修を引き続き実施する。
		授業改善の取組状況	B	
教育目標・ 学校評価	教育目標の設定と 自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	B	
	生徒・保護者の意見・ 要望等の状況	生徒・保護者の相談受付体制の整備状況	B	
		生徒・保護者の授業満足度調査等の実施と活用	C	生徒に対する調査は面接指導時に実施し、保護者に対する調査は郵送等で実施する予定。
情報提供・情報公開		学校に関する情報の提供状況	B	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	
保護者、地域住民等との連携		授業等における地域の人材等外部人材の活用状況	B	
教育環境の 整備	施設・設備	施設・設備の効果的な活用及び点検等の実施状況	B	
		学習環境の充実のための取り組み	B	